

## 平成 29 年度神奈川県立舞岡高等学校学校目標

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	生徒の学習意欲を高め、育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程編成に取り組むとともに、課題解決に向けた主体的・協働的で、能動的な学びへと授業を改革し、学びの質を高め、その深まりを重視する組織的な授業改善を行う。	①主体的・対話的で深い学びというアクティブラーニングの視点からの授業改善に組織的に取り組む。  ②逆さま歴史教育の研究指定校として、「実践研究」及び「指導事例集」の作成に取り組む。	①プロジェクトチームを活用し、研究授業や職員への情報提供を行い、「生徒主体の授業」の視点からの授業実践を全ての教員が実践する。 ・ICT 利活用教育を促進し、授業改善に活用する。  ②研究指定校として全ての教科で「実践研究」に取り組み、授業公開を積極的に行うとともに「指導事例集」の作成に取り組む。	①生徒による授業評価の項目「生徒主体の授業の工夫」における数値を上げることができたか。 ・タブレット等の ICT 機器を授業に活用することができたか。  ②全ての教科で授業公開を実施し、「指導事例集」を作成することができたか。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①生徒の規範意識の醸成と基本的生活習慣の定着を図り、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図り、自他の大切さを認める人間性、社会性を育む。 ②生徒会活動・部活動の活性化を図り、生徒の自主性、意欲を高める。	①生徒の規範意識の醸成を図るため、学校全体で指導に取り組むとともに生徒支援・教育相談体制の一層の充実を図る。  ②部活動の充実を図る取組みを推進する。	①学年会を通して教員間の共通理解・情報交換を行うとともに、生徒会や PTA 等との協働による取組みの充実を図る。  ②部活動への興味・関心を高めるため、情報提供や新たな支援を検討する。部室や練習環境の整備に取り組む。	①学年会で毎回、情報交換、共通理解がはかれたか。また、生徒会や PTA 等と協働できたか。  ②情報提供や新たな支援をもとに充実した部活動ができるようになったか。 ・部活動加入率 70%以上を維持できたか。

3	進路指導・支援	<p>「進学先の向こうにある社会」を意識させ、主体的に職業や生き方についての自覚を促すとともに生徒の希望進路が実現できるキャリア教育を行う。</p>	<p>○生徒が自己のライフプランを形成できるように、主体的・積極的に取り組めるキャリア教育の構築を図る。</p>	<p>○ライフデザインガイダンスを実施し、生徒の人生設計という観点からのキャリア支援を行う。 ・生徒のニーズに対応した柔軟なキャリア支援を行う。</p>	<p>○ライフデザインガイダンスを実施し、生徒の理解を深めることができたか。 ・生徒の実情に応じた柔軟なキャリア支援が実践できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>① Web ページなど様々な広報媒体を使って、県民にわかりやすい情報提供に努める。  ②分教室や地域との連携事業や奉仕活動などを通して、生徒に共生の意識を育成する。</p>	<p>①Web ページのリニューアルに向けた計画を立案し、わかりやすいサイトの構築を図り、情報提供に努める。  ②地域連携や奉仕活動を通して共生の意識を持たせ人間的な成長を図る。</p>	<p>①1 学期中に Web ページの大きな枠組みを完成させ、順次サイトを充実させる。 ・サイトへの情報提供する仕組みを作る。  ②授業や部活動、行事を通して組織的・計画的に地域連携や奉仕活動を実施する。</p>	<p>①Web ページに古い資料やリンク切れなどが無いよう定期的に更新しているか。 ・サイトへの情報提供の仕組みができたか。  ②地域連携や奉仕活動の調整・確認の体制を確立し、年間を通して計画的に活動できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①学習環境の整備を推し進めるとともに、災害時に備えた防災体制の充実を図り、安心・安全で信頼される学校作りを推進する。  ②個人情報の取扱いについての研修等を通じてセキュリティ危機管理意識の向上と啓発に努めるとともに、事故・不祥事防止に取り組む。</p>	<p>①災害に備えて、3日分の食糧と物資・機材等の備蓄と整備を推し進める。 ・安全で清潔な学校生活が送れるように環境整備を行う。  ②電子データや個人情報の取り扱いについてのマニュアルを見直してセキュリティ意識の向上を図る。</p>	<p>①在庫の確認を行い、備蓄整備計画に基づいた購入を実施する。 ・生徒会や PTA と協働して清掃活動を行うとともに、校内の修繕箇所を確認し、対応を行う。  ②校内情報通信ネットワーク運用規定を見直す。</p>	<p>①備蓄品の一覧を作成し、非常災害時に備えることができたか。 ・生徒会や PTA と協働して環境整備を行うことができたか。  ②構内情報通信ネットワーク運用規定を見直すことで、個人情報等が適切に管理できるようになったか。</p>